

◆月別合計入園者数比較

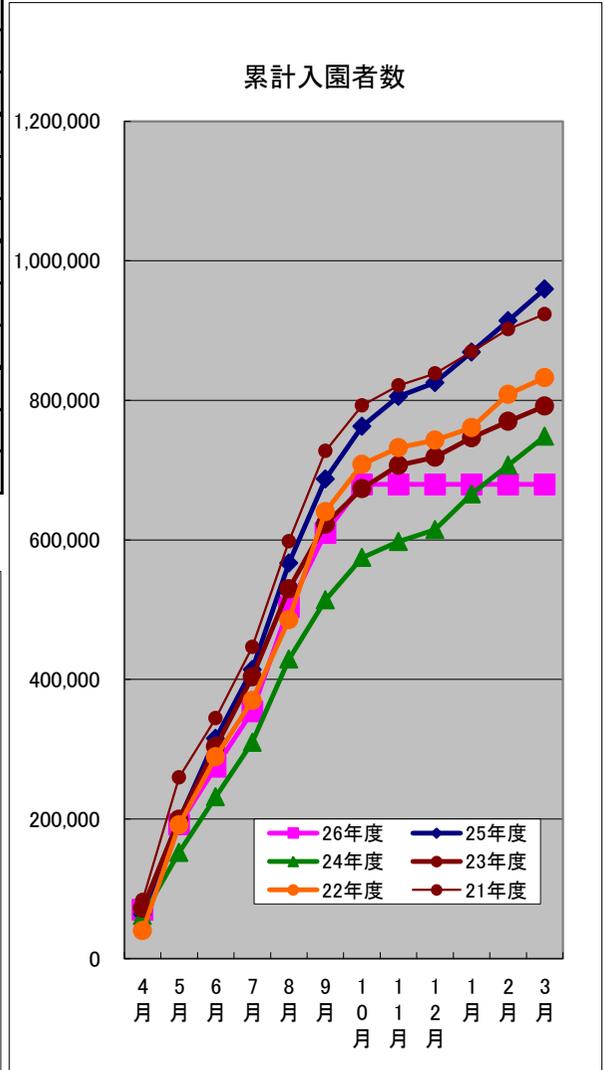
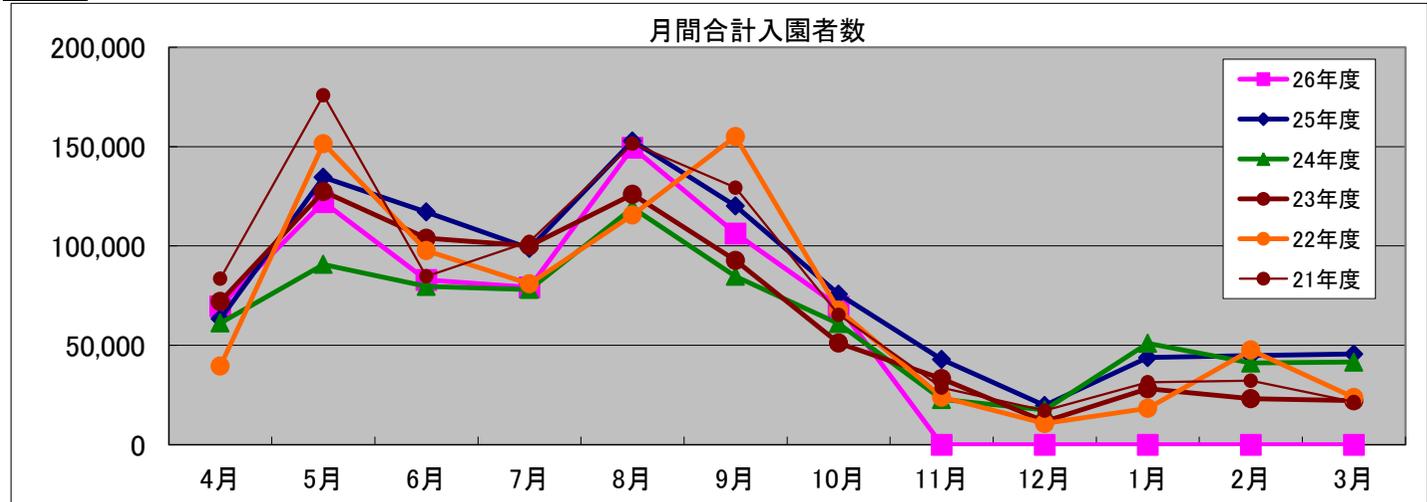
※夜間、後納分を含む。

◆累積グラフ

月計	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度
4月	69,728	63,370	61,201	72,066	39,570	83,593
5月	122,124	134,584	90,717	127,432	151,529	175,899
6月	82,960	117,092	79,708	103,931	97,718	84,734
7月	79,250	98,812	78,076	100,141	80,939	102,111
8月	149,537	152,823	119,222	126,030	115,635	151,523
9月	106,375	120,151	84,731	92,733	155,072	129,400
10月	69,560	75,758	60,943	51,146	67,797	65,337
11月	0	42,884	22,735	33,220	23,888	28,686
12月	0	19,729	17,388	11,613	10,588	17,169
1月	0	43,829	50,974	28,127	18,255	31,363
2月	0	44,759	41,065	23,202	47,634	32,157
3月	0	45,640	41,561	22,113	23,794	21,531
合計	679,534	959,431	748,321	791,754	832,419	923,503
H17比	138.4%	195.4%	152.4%	161.3%	169.6%	188.1%

累計	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度
4月	69,728	63,370	61,201	72,066	39,570	83,593
5月	191,852	197,954	151,918	199,498	191,099	259,492
6月	274,812	315,046	231,626	303,429	288,817	344,226
7月	354,062	413,858	309,702	403,570	369,756	446,337
8月	503,599	566,681	428,924	529,600	485,391	597,860
9月	609,974	686,832	513,655	622,333	640,463	727,260
10月	679,534	762,590	574,598	673,479	708,260	792,597
11月	679,534	805,474	597,333	706,699	732,148	821,283
12月	679,534	825,203	614,721	718,312	742,736	838,452
1月	679,534	869,032	665,695	746,439	760,991	869,815
2月	679,534	913,791	706,760	769,641	808,625	901,972
3月	679,534	959,431	748,321	791,754	832,419	923,503
前年度比	70.8%	128.2%	94.5%	95.1%	90.1%	-

資料 1  
第 22 回 会 議



## 平成 26 年度夏・秋のイベント事業について

### 1 来園者数

7月～10月の来園者数は、平成25年度より約10%（42,822人）減少した。10月には、レッサーパンダ、コツメカワウソの子どもを公開し、多くの人が来園したが、各月とも昨年度を下回っていることから、今年3月に転出したホッキョクグマの双子効果が大きかったことがわかる。

年度	来園者数
平成 21 年度	448,371 人
平成 22 年度	419,443 人
平成 23 年度	370,050 人
平成 24 年度	342,972 人
平成 25 年度	447,544 人
平成 26 年度	404,722 人

### 2 イベント実施状況

#### (1) 壁面アート展（7/19～現在実施中）

札幌国際芸術祭 2014 連携事業として、アフリカゾーン建設予定地のフェンスに動物の写真や似顔絵を展示。

#### (2) 夜の動物園（7月中旬から8月末までの毎週土曜日とお盆）

各回テーマに沿った催しを行った。特に8/14～8/16に行った大きな氷柱から動物を彫り上げる氷像彫刻パフォーマンスが人気を博した。

7月19日 ドキドキシナイト：ドキドキ体験を多数実施

7月26日 ZOOガーデンスペシャルナイト：アコースティックギター生演奏、飲み物割引

8月2日 キッズナイト：テレビ父さん〇×クイズ（さっぽろテレビ塔キャラクターとコラボ）

移動天文車などによる天体観測、昆虫観察会、動物紙芝居

8月9日 学生たちの夜：学生限定〇×クイズ、学生限定ミステリーツアー

8月14日 ガールZOOナイト：ほたるネイル、氷像彫刻パフォーマンス、限定アイス販売

8月15日 サプライズナイト：夜の大道芸、氷像彫刻パフォーマンス

8月16日 氷と光の夜：ミスト&ライトアップ、氷像彫刻パフォーマンス

8月23日 は虫類とアートの夜：アート映像&縄文太鼓演奏、SAPPORO CITY JAZZ ライブ他

8月30日 夜の動物園ファイナル&シネマナイト

：ドキドキ体験を多数実施、ミステリーツアー、札幌国際短編映画祭 PR 上映会

#### (3) NTT 東日本体験広場（7/26～8/10）

シニア世代と子どもと一緒に楽しめる「昭和レトロ」な体験広場を開催。パソコンを使った子ども新聞づくり体験、インターネットボーリングゲーム、テレビや電話機などを今と昔で比較する今昔展示、最新タブレットでインターネット無料体験、駄菓子屋などの体験ブースを設けた。

#### (4) わくわく蟲ランド（7/26～8/24）

昨年度に引き続き実施。今年は、テーマを「食虫」とし、虫の生態展示、虫のふれあい、虫の試食コーナーを設けた。

- (5) 夏のわくわくランド in 円山動物園 (8/12～8/18)  
巨大遊具5台とスピーカーの移動式遊園地を誘致
- (6) 円山スネークアート展 (9/11～9/21)  
は虫類・両生類をモチーフにした写真やアートを多数展示
- (7) 秋まつり (9/13～9/15)  
エゾヒグマに生きたサケ、長寿動物にごちそうを与えたり、本市農政部と連携し、札幌市内で採れた新鮮野菜の試食、販売を行った。また、9/14に秋限定の夜の動物園を開催。
- (8) サイエンZOO (10/11～10/12)  
子どもから大人まで参加できる実験や動物の不思議にせまるサイエンスショーを実施
- (9) くまモン隊がやってくる (10/13)  
熊本市動植物園に移動したホッキョクグマのマルルの飼育員とくまモンが来園。マルルの近況報告やくまモン隊のステージショーを実施。
- (10) 雑食デー (10/25)  
今年の春に実施した肉食デー、草食デーに関連したイベント雑食デーを実施。雑食動物たちの生態解説や人気投票を実施
- (11) 秋のスペシャルメニューDAY (11/8～11/9)  
エゾヒグマに生きたサケ、オオカミにもサケ、アザラシには生きた魚など食欲の秋にふさわしいスペシャルメニューを動物たちに与えた

### 3 広 報

- (1) 円山動物園だより「夏号」「秋号」を配布 (小学校等各18万部)
- (2) チラシの作成
- (3) 新聞・テレビ報道
- (4) 地下鉄隔駅構内にポスターを掲出

### 4 その他

高校生以上の学生の集客対策として、7/1～8/31までの期間、年間パスポートを半額で販売し、当該期間の年間パスポート購入者の20,670人の約23%にあたる4,802人が購入した。

## 1 主な実施予定

### (1) クリスマス関連イベント

- ・クリスマススペシャルナイト 12/20 (土)  
開園時間を 20 時まで延長します
- ・動物たちにエサのクリスマスプレゼント 12/23 (火・祝)  
くじで当たりが出たら動物に餌やりができます。小学生以下限定。
- ・サンタさんに会いに行こう！ 12/20 (土)～12/25 (木)  
園内に出没したサンタに「メリークリスマス」と声をかけるとプレゼントがもらえます
- ・恋人たちのクリスマス ZOO ナイト 12/23 (火・祝)  
男女のカップル 20 組 40 名を夜の動物園に無料招待

### (2) お正月関連イベント

- ・正月 3 が日入園料無料 1/1 (水・祝)～1/3 (金)  
期間中、入園料を無料にします
  - ・干支に因んだ縁起物配布 1/1 (水・祝)～1/3 (金)  
2015 年の干支「未」に因んだ縁起物を各日それぞれ先着 100 個無料配布
  - ・ちびっこ餅つき体験・おしるこ無料配布 1/4 (日)  
小学生以下を対象にした餅つき体験と、先着 500 名へおしるこの無料配布
  - ・干支の特別展示 1/31 (金) まで  
未に関するパネル展など
- ※その他の内容は検討中

### (3) スノーフェスティバル

- ・期間中入園料無料 2/5 (木)～2/11 (水・祝)  
期間中、入園料を無料にします
  - ・氷の滑り台 2/5 (水)～2/11 (火・祝)  
第一レストハウス前に氷でできた滑り台を設置します
  - ・夜間開園 2/7 (土)  
開園時間を 20 時まで延長します
- ※その他の内容は検討中

## 2 広報

- (1) 広報さっぽろ掲載
- (2) 動物園だより 180,000 部発行
- (3) チラシ 75,000 部、ポスター1,300 部の作成、配布

## 円山動物園運営への支援について

### 1. 円山動物園運営への寄附 →継続

- ・ 飼育動物の餌(餌代)、動物園の運営、イベント協賛費等に活用。
- ・ 個人は、地方税法上(住民税)の寄付金控除と所得税法上の寄付金控除が受けられ、法人は法人税法上、全額損金算入できる。5 万円以上の寄付者には感謝状贈呈。氏名等のホームページ公表(同意者のみ)。

### 2. アニマルファミリー制度 →廃止

- ・ 寄付金控除が受けられる寄附制度の一形態として、平成 20 年度に開始。平成 23 年度以降は会員数が伸びず、また新規加入者数も激減。
- ・ 平成 26 年 3 月 24 日付で現会員にはこの制度の終了をお知らせし、ホームページ上でも告知。
- ・ 平成 26 年度内の新規加入会員の有効期間は平成 27 年 3 月 31 日までだが、会費は月割計算。

### 3. (仮称)「円山動物園サポーター」 →新規

- ・ 平成 27 年 4 月開始を目途に、以下の方向で準備中。
  - ① わがまちの動物園をよりよく継続していこうという思いを、市民・企業がともに共有し、自らが動物園を支えているということを実感できるような制度を目指す。
  - ② 有志企業・団体が、円山動物園を応援する共同運営団体を設立し、寄付を行う市民は、この団体の会員となって年会費を支払う。
  - ③ 年会費額は大幅に引下げ、より多くの市民が加入しやすいものにする(「円山動物園基本計画(改訂版)」による設定目標=2 万人)。
  - ④ 集められた会費は、動物獣舎の擬岩や擬木など多岐にわたる動物のエンリッチメント(飼育環境の充実)のために役立て、支払った会費の成果が会員・来園者の目に見えるような使途に充てる(支払った会費は、全額、円山動物園の動物のエンリッチメントのために使われるようにする)。
  - ⑤ 会員へのサービスは、メールによる情報提供など、現在検討中。

市民動物園会議規則を次のように制定する。

平成 26 年 10 月 6 日

札幌市長 上 田 文 雄

札幌市規則第 66 号

### 市民動物園会議規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、札幌市附属機関設置条例（平成 26 年条例第 43 号）第 7 条の規定に基づき、市民動物園会議（以下「動物園会議」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員長)

第 2 条 動物園会議に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、動物園会議を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第 3 条 動物園会議の会議は、委員長が招集する。

2 委員長は、動物園会議の会議の議長となる。

3 動物園会議は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

4 動物園会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第 4 条 動物園会議は、必要があると認めるときは、関係者に対し、出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第5条 会議の庶務は、環境局において行う。

(委任)

第6条 この規則に定めるもののほか、動物園会議の運営に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 第2条第1項及び第3項の規定にかかわらず、この規則の施行の際現に従前の動物園会議に相当する合議体の委員長又はその職務を代理する委員である者は、それぞれこの規則の施行の日動物園会議の委員長又はその職務を代理する委員として定められ、又は指名されたものとみなす。

### 主な新着動物・出産の状況

月 日	内 容
7月4日	エゾモモンガ繁殖確認（1頭）
7月11日	シセンレッサーパンダ 繁殖（雄、1頭）
7月16日	コツメカワウソ 繁殖（雄2、雌2、計4頭）
8月23日、9月6日、 10月3日	リスザル 繁殖（計3頭）
8月26日、9月9日	チリーフラミンゴ 繁殖（計2頭）
10月2日	シロテテナガザル 雌 転入

### 主な転出動物・死亡の状況

月 日	内 容
7月25日、10月24日 11月14日	エランド「ニコ（雌）」・「アイカ（雌）」・「サンタ（雄）」転出
8月29日	アンデスコンドル 雌 死亡
9月22日	アメリカクロクマ 雌 安楽死
10月4日	ブラッサグェノン 雌 死亡
10月19日	クロザル 雌 死亡
10月23日	エランド 雌 死亡

## ●円山動物園のアジアゾウ導入について

円山動物園では、種の保存や環境教育の推進を目的として、平成 30 年秋ごろにアジアゾウの導入を目指すこととしました。

これは、平成 19 年にアジアゾウの「花子」が死亡して以降、ゾウの導入を期待する市民の声を受けて、調査検討を進めてきたものです。

円山動物園では、ゾウの生態に合った飼育環境を整え、国内外の動物園と協力し積極的に繁殖を進めることにより、飼育下のゾウの頭数を維持し次世代の命をつなげる動物園の役割を果たすとともに、多くの市民にゾウの生態や生息地のことを知ってもらいたいと考えています。

### 1 アジアゾウの導入について

#### (1) アジアゾウ導入の意義

- ① 陸上最大の動物であるゾウを間近で見ることにより、市民とりわけ子どもたちに驚きと感動を伝える。
- ② ゾウの展示や生息地に関するメッセージを通して、環境問題や生物多様性の重要性について考えるきっかけとなる。
- ③ 東北以北で初となるゾウの繁殖に挑戦し、群れ飼育と繁殖についての先進的な動物園を目指し、市民の誇りとなる「いのち輝く」交流拠点とする。

#### (2) 導入時期（予定）

平成 30 年秋

#### (3) 導入頭数

雄 1 頭、雌 2～3 頭。将来的に 5～6 頭の群れを目指す。

#### (4) 飼育展示方法について

##### ① ゾウ舎の整備について

###### ア 場所

円山動物園「熱帯動物館」を解体する跡地に整備する予定。（中央区宮ヶ丘 3）

###### イ 広さ

屋内 2,000 m<sup>2</sup>程度、屋外 3,000 m<sup>2</sup>程度

###### ウ 工事期間（予定）

平成 28 年～29 年

###### エ 概要

雌を中心とした群れで暮らし、長い時間を歩き採食するゾウの生態に合わせ、広い敷地や砂床、水浴び場などの環境を整える。



▲ゾウ舎デザイン図（屋外）



▲ゾウ舎デザイン図（屋内）

② 飼育方法について

ゾウのストレスにならない飼育・健康管理を行うため、「準間接飼育方法（プロテクテッド・コンタクト）」を採用する。これは、専用で作られた防護壁設備を介して飼育員や獣医師がゾウと同じエリアに入ることなく採血や体洗いなどの管理を行う飼育方法。ゾウにとってはストレスが少なく、飼育員や獣医師にとっても安全に飼育管理を行うことができる方法として、近年世界的に導入が進んでいる。

③ 教育プログラムの作成について

ア 学校教育プログラム

子どもたちを対象としたプログラムを充実させるため、小・中学校と円山動物園が共同で、授業に活用できる動物園授業プログラムを作成。地球環境や生物多様性について学んでもらう場とする。

イ 共同研究・大学連携プログラム

大学研究機関等と共同で生態・繁殖生理研究をテーマとした共同研究プログラムを実施し、エンリッチメントの効果分析や繁殖推進につなげる。

ウ 環境教育プログラム

一般来園者向けにゾウの生態・行動の解説を中心とした環境教育プログラムを実施。生息地を守るための意識醸成につなげる。

エ その他

ボランティアガイドによる、ゾウの特徴や、平成 19 年に死亡したアジアゾウ「花子」について解説を行うプログラムを実施。

(5) 導入費用

- ① ゾウ舎建設費：約 20 億円
- ② 飼育代・光熱水費：年間約 2000 万円

(6) 導入スケジュール

施設のオープンは原産国との調整が順調に整えば平成 30 年度となる見込み。



<参考：アジアゾウについて>

東南アジア、中国南部などに生息。雄の体長 5.5～6.4 メートル、体重最大 5～6 トン。推定個体数は 1990 年前後の約 10 万頭から 2008 年には 36,000～51,000 頭へ減少し、絶滅危惧種とされている。日本国内飼育数は 82 頭（平成 26 年 11 月時点）。

問い合わせ先

円山動物園経営管理課 木村・飼育展示課 柴田

電話：621-1426